

第25回秋田市地域公共交通協議会 議事要旨

開催の日時 平成30年2月6日(火) 午後1時30分から午後2時50分

開催の場所 ルポールみずほ ききょう

委員の定数 23名

出席委員 23名(うち代理出席8名)

会議内容

- ・協議
 - (1) 第2次秋田市公共交通政策ビジョン等の進捗状況について
 - (2) 幹線バス路線等の調査検討業務について
 - (3) バス路線廃止の意向の申出について
- ・報告
 - (1) 移動手段の確保に関する先進事例調査(デマンド交通)について
 - (2) 秋田市マイタウン・バス東部線における事業用自動車の変更について

※第8回バス路線再生分科会において協議が整った事項についての報告

司 会	1 開会
会 長	2 会長あいさつ
事 務 局	次第3の協議に入る。
委 員	協議1の第2次秋田市公共交通政策ビジョン等の進捗評価について、事務局から説明願う。
	(資料1に沿って説明)
	「実績を踏まえた今後の方針」は、平成32年度までということか。32年度以降も継続するのか。

事務局 基本的には計画期間である平成32年度までである。ただし、路線バスの輸送人員等、32年度以降も継続して推進していくべきものもある。

委員 中心市街地に関する指標の今後の方針として、県・市連携文化施設整備の推進にかかる記載があるが、当該施設の開館は平成34年度を予定していることから、計画期間である32年度には間に合わないのではないか。芸術・文化ゾーンの活用などの方針を入れた方が良いのではないか。

事務局 ご意見として承る。

会長 中心市街地循環バスの利用者数について、現況値より増えているが、事務局としてはどのように評価しているか。

事務局 中心市街地循環バスについては、損益分岐点となる乗車人数が1便あたり14人に対し、実績は7.4人であることから、財政的な面では十分ではないが、利用者数の推移として増加していることについては評価している。

会長 実績を踏まえた今後の方針には、改善すべき点と評価できる点と、メリハリをつけた表記方法とした方が良い。

事務局 そのような表記を追加する。

委員 市内バス輸送人員および運送収入の数値が落ちているが、ICカード導入に関する検討の状況はどうなっているか。

事務局 平成29年8月に、行政、事業者、銀行等で組織する交通系ICカード導入推進協議会を設置し、その中で検討を行っているところである。

委員 導入するのか。

事務局	今年度の協議会の中で協議していく。
会長	交通事故死傷者数と高齢者交通事故死傷者数の指標に対する今後の方針について内容が同じであることから、高齢者においては高齢者に特化した方針など、指標に対してもっと具体的な記載の方が良いと思うがどうか。
事務局	具体的な記載に修正する。
委員	データ出典のうち、「しあわせづくり市民意識調査」は、改めて調査を行うのか。
事務局	本調査は5年に1度の調査である。平成31年度に改めて実施する。
会長	他に意見等はないか。なければ、修正の内容確認は当職に一任ということで、協議1を承認してよろしいか。 ※修正内容について、平成30年2月19日に会長の承認を得た。
委員一同	異議なし。
会長	協議1を承認する。 協議2の幹線バス路線等の調査検討業務について、事務局から説明願う。
事務局	(資料2, 3に沿って説明)
委員	アンケートについて、個人属性で「④利用したことはなく、今後も利用しないと思う」を選んだ方が本調査の内容を見ていただけるのか。利用しない人が理由を記載する項目があったも良いのではないか。
事務局	本調査において、今後も利用しないという方がその理由について把握できる選択肢を検討していく。
委員	乗らない人がどうすれば乗っていただけるかがバス事業にとっては

大切なことであるため、自由記述があっても良いのではないかと思います。

事務局 バスに対し漠然とネガティブなイメージを持っている方がいることも考えられるため、その要因についても調査できるよう努める。

委員 調査対象6,000人の年齢構成はどのように想定しているのか。600人分のアンケートの回収でどこまで分析が可能なのか教えて欲しい。

事務局 回答を確認の上、年齢構成に極端な偏りが見られるようであれば、追加でアンケートを実施することを検討していく。
また、秋田市の人口であれば、600という回答数は統計学上、おおよそ方向性が見えてくる数値である。

委員 このアンケートは18歳以上を対象としているが、高校3年生しか対象にならない。バスを利用する高校生も比較的存在するため、調査対象を全学年に拡大できないか。

事務局 アンケートの手法を含め、実施可能であれば検討したい。

委員 回収率10%は統計学上問題ないと思うが、回収率10%は少なすぎると感じる。回収率を上げる工夫を行うべきである。

事務局 そのように検討していく。

委員 WEB調査について、市民の個人情報の取扱いに不安に感じるため、実態を教えてほしい。

事務局 民間のリサーチ会社に登録している秋田市民を対象にアンケートを行う。

委員 その時点で一度フィルターを通しての方がアンケートの対象になるのではないか。秋田市民全員から無作為に選定していないように感じる。

事務局	無作為にアンケートを郵送をすることと、WEBを通して高い意識を持ちアンケートに答えていただくことに大きな差は無いと判断している。
会長	アンケート調査において結果にバイアスがかかることは、WEBでも郵送でも避けられないことであり、重要なのは集計結果をどのように判断するかということである。
会長	他に意見等はないか。なければ、アンケートの対象について当職に一任していただくということで、協議2を承認してよろしいか。 ※アンケートの対象を15歳以上にすることについて、平成30年2月19日に会長の承認を得た。
委員一同	異議なし。
会長	協議2を承認する。 協議3のバス路線廃止の意向の申出について、事務局から説明願う。 廃止・経路変更路線等の詳細については、バス事業者から説明する。
事務局	(資料4に沿って説明)
委員	「路線廃止」「系統廃止」「経路変更」と区分しているが、道路運送法上の取扱いは、全て「系統の廃止」という理解でよいか。
バス事業者	そのとおりである。
委員	路線図にある「新規計画路線」は、本協議会における協議3の承認・非承認にかかわらず新設されるのか。
バス事業者	その予定である。
会長	他に意見等はないか。ないようなので、協議3は、他の既存路線や新設される路線で代替が可能と考えられるため、廃止については、やむを得ないものとして協議が整ったものとして承認してよろしいか。

委員一同	異議なし。
会長	協議3を承認する。 以上で今回の協議を終了する。
司会	次第4の報告に入る。 報告1の移動手段の確保に関する先進事例調査（デマンド交通）について、事務局より説明願う。
事務局	（報告1に沿って説明）
司会	質問等はないか。ないようなので、次に、報告2の秋田市マイタウン・バス東部線における事業用自動車の変更について、事務局より説明願う。
事務局	（資料5に沿って説明）
司会	質問等はないか。ないようなので、次第5のその他として、委員から何かあるか。
委員一同	なし。
司会	事務局から何かあるか。
事務局	なし。
司会	第25回秋田市地域公共交通協議会を終了する。